

『マイガーデンの恵み』を紹介します JFEトンボみちでの収穫したものです

JFEトンボみちでは、ファンクラブの皆さんが、野菜や果物をマイガーデンで一生懸命育てています。今年の4月から7月までに収穫された『マイガーデンの恵み』を紹介します。梅雨時から8月にかけて雨不足で、作物には厳しい夏だったようです。(編集:相馬)



トンボみちなんでも調査隊

皆さんの「？」を調査します。調査した結果を報告します。
皆さんの「？」を事務局へお寄せ下さい。

「セミ」の一生は地中で7年、成虫は1週間……って本当？

地球が誕生して46億年ですが、地球上に昆虫が現れたのは3.6億年前で、巨大トンボやゴキブリに混じって「セミ」も現れたようです。その後、長い氷河期を「セミ」は地中で、といても氷河の影響をあまり受けなかった地中でじっと地上に出るのを我慢し、地中にいる期間が長くなったようです。(因みにヒトの祖先は180万年前です)

「セミ」の一生は、樹木に産卵された卵は孵化(越冬し孵化する種類が多いようです)し、地上に降り、地中に潜り、木の根などからの樹液を栄養に成長し、脱皮を繰り返して地上に這い上がってきます。そして、羽化して成虫となり子孫を残して死んでいきます。

「アブラゼミ」の研究で、孵化は産卵の翌年の梅雨時で、地中で成長し地上に出てくるまでに6年(孵化後7年)ということが分かり、その説が一般化したようです。しかし、アブラゼミが最近では5年で羽化する個体が多いらしいことも分かっているようです。「セミ」の種類によっても地中での生活期間が違うようです。

それでは、羽化した「セミ」の生存期間は一週間(?)。これは成虫の飼育が困難ですぐ死んでしまうことからきた俗説で、野外では1か月ほどとも言われているようです。ところで皆さんは、周期ゼミ(素数ゼミ、13年・17年ゼミ)を知っていますか!(記・撮影:相馬)



アブラゼミ
On soumaの顔面

(シリーズ) トンボみちの仲間たち

8月24日(土)のファンクラブ活動の様子です。(撮影:山田裕子さん)



トンボ池まわりの草取り



マイカーテンの手入れ



スイカ



トンボ池



シオカラトンボ



ファンクラブのみなさん



バッタ



アゲハチョウ

これからの活動予定です。雨天は1週間延期
今月: 9月28日(土) 7時~9時
来月: 10月26日(土) 10時~12時
事前の申込みはいりません。誰でも参加可能。

発行日: 2013年 9月25日
発行者: トンボみちファンクラブ事務局
事務局: 〒230-8611 横浜市鶴見区末広町2-1
JFEエンジニアリング(株)鶴見製作所 環境保全室
Tel045-505-7447, Fax045-505-6546
ファンクラブ通信への自由投稿をお待ちしています。



京浜の森ロゴマーク

ファンクラブ通信に使用しているリサイクル用紙は、古紙パルプ配合率100%です。